

養成で オンラインを 留学生を 経営者が

画面越しに講義する藤沢さん



企業でありたい」と強調。

新型コロナウイルスの影響を「新しい仕事をつくっていくチャンス」とし、「情報が氾濫する中で、ファクトを確かめて考え抜くことが重要。自分の意見、考えを持って」と投げ掛けた。

「社会人に必要な能力は」という学生からの質問には、「自分の特徴や得意なこと、きちんと自信を持っている状態が大事」と答えた。

群馬大などが留学生の人材育成と就職支援に取り組む「グローバル・ハタラクラスぐんま」プロジェクトの一環で、県内外の企業関係者を招いたオンライン講義が21日に開かれた。建物・設備メンテナンスのフジサワ（前橋市）社長の藤沢さん（42）が講師を務め、新型コロナウイルスと共生する時代の企業経営や考え方について語った。

同社は2023年に創業100周年を迎え、藤沢さんは「老舗ではなく、いつでも新しいことに取り組む

高崎経済大学大学院修士課程2年の武丹さん（21）は「私たちはリスク社会に生きている。柔軟な対応をしていくことが重要と感じた」と話していた。

講義は7月まで全10回実施し、この日は留学生ら19人が受講した。中国出身で